

新年のご挨拶

池田泉州ホールディングス社長CEO
池田泉州銀行頭取CEO

さかぐち
阪口

ひろひと
広一



新年あけましておめでとうございます。
旧年中は池田泉州銀行グループをご愛顧
いただき、誠にありがとうございました。

2025年、関西の最大のイベントは「大阪・関西万博」でした。連日、外国人や関西圏をはじめ日本全国から多くの来場者で賑わい、世界中に「いのち輝く未来社会のデザイン」を力強く発信しました。過去最高の158カ国・地域が参加し、一般来場者は2,500万人を超える盛り上がりを見せ、盛会裏に閉幕しました。今後、産学官の連携による「万博発」の新しい技術・サービスの創造や社会実装、万博のレガシーを活かした街づくりが期待されます。9月には、南北の御堂筋に続く「東西軸の拠点」として開発が進む大阪東部に大阪公立大学森之宮キャンパスが開設。また、関西の大学からお二人のノーベル賞受賞者が選ばれた快挙や、関西出身の女性首相の誕生もあり、まさに「関西の年」となりました。

さて、当社グループにて現在進行中の「第5次中期経営計画Plus」は、今年度が

最終年度となります。この計画では収益力と資本効率の改善に重点的に取り組み、お蔭さまで安定的な収益力の確保が定着しつつあります。現在、「次期中期経営計画」と併せて「長期経営戦略」の策定に着手しております。これまでの中期経営計画では、筋肉質な経営体質を構築し、財務基盤の強化に主眼を置いておりましたが、今後は短期や中期の視点にとどまらず、「10年後のあるべき姿」からバックキャストした戦略を構築中です。そして、「当社グループの存在意義は何か」「これからの時代にどんな価値を提供できるのか」といった根本的な問いについて長期視点で議論を進めております。

2025年7月、「データでビジネスを応援する」をミッションに「01銀行」を開業しました。「01銀行」は、中小企業向け融資に特化したデジタルバンクで、融資審査には決算書の代わりに口座の出入金データやSaaSの利用データを活用し資金ニーズにきめ細かくお応えする新しい金融サービスです。更に、2026年1月には、取引先などの事業承継を応援する新会社「池田泉州

M&Aソリューション」、事業承継に関わるファンド運営を担う「池田泉州インベストメント」の運用開始を予定しております。

年頭にあたり、当社グループは、地域の皆さまから愛される金融グループを目指すために、2つの誓いを立てました。

1つ。我々は、お客さまの課題に向き合い、アイデアを出し、解決へと導くソリューションパートナーとなります。

1つ。我々は、お客さまや地域の夢を共に育み、その夢をかたちにする金融グループとなります。

これらを肝に銘じて役職員一同、精一杯取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、お願いいたします。

今年の干支は「丙午ヒノウマ」。「丙」は「陽気の発揚」「午」には「勢いがあり、幸運が駆け込んでくる」という意味があり、今年は「陽気を生かす地表に出ようとする成長・飛躍の年」。本年が皆さまにとりまして実り多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。